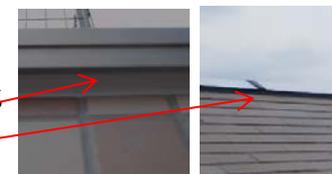


笠木カバー下隙間／斜壁・垂直取り合い面／平場面への セブンス塗装



- 笠木カバーの隙間がある、または、カバー下に防水が施されていない場合には台風や、風雨の強いとき、笠木カバー内へ降雨供給が継続すると、セブンス透明塗膜が下地側からの湿気で白濁し、更に湿気の供給、温冷繰り返しが続くと、塗膜の白化、硬化が進行し経年で塗膜ひび割れ、剥がれの発生、漏水を伴う場合がある。



☆ シーリング材を笠木カバー内・外両側の隙間へ埋め、降雨の入らないようにする。
(アクリルウレタンシーリング)

1回/年の点検が大事です

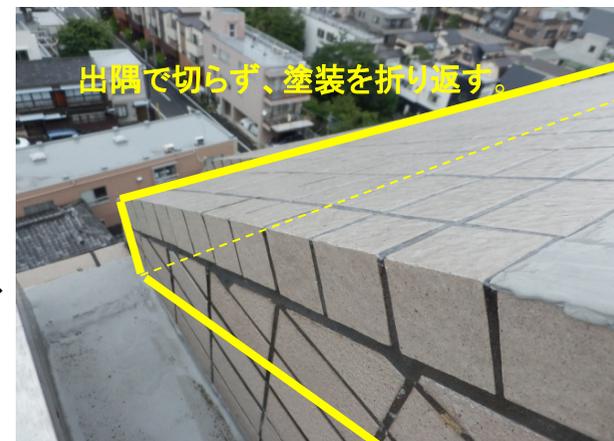
塗膜が足りない／中塗り1kg以上を目安に

斜壁や平端では、5～7年程度でのトップコート塗り替え目安

2枚以上折り返し塗装して下さい。



- 面で塗装をする場合、出隅で切らず、取り合い面にセブンスを下地躯体の(厚味)分まで折返し塗りします。



- 現在、斜壁や、手摺りなど平場には、セブンスネオシーラー又は、セブンスシーラー2回塗り、セブンス中塗り 1kg/m²塗り以上。セブンストップ 2回塗り
依頼しております。

- 斜壁面、平場へのセブンス塗装は雨溜まり無く、降雨の乾き易いよう、しっかり目地モルタル部へ塗装して下さい。

斜壁や天端へはシーラーでの吸い込み止めをしっかりとる。

- 現在、斜壁や、手摺りなど平場には、鋼製カバー工法・笠木カバーなどを覆い保護する。又は、ウレタン塗膜防水や、外アクリルゴム系外壁防水セブンスウォールなどを依頼しています。

